

インダストリー4.0の 近未来に向けて

とにかくやってみよう！
やってわかることがたくさんある

NEWS LETTER 遊文通信

2016年9月発行

64

前号では急速に進展する第4次産業革命の今後を考察しました。大量生産大量消費前提の経済原理で拡大してきたマーケットが、人工知能とインターネットの融合により一気に大変革するという近未来。いま中小企業が「見るまえに飛ぶ」ための具体的な提言を紹介するとともに、ご多忙のなか本レポートを寄稿くださった杉田晴紀様にあらためて感謝申し上げます。

(編集部)

第四次産業革命に対し、今、日本の中小企業が考えるべきこと

その2

中小企業にとっての第四次産業革命の機会と脅威

ビジネスチャンスは多品種カスタマイズサービスの拡大で、中小企業の機動性や柔軟性が活かされる領域です。逆にリスクもあり、ビジネス性を無視したカスタマイズは論外として、リアルタイムで変化が起こりうる市場環境となるため、投資した領域がすぐに陳腐化するリスクが拡大します。回避策は限定領域でのテストマーケティングを実践しPDCAをまわすことです。

もうひとつは、地域密着型サービス。第四次は、生活・移動空間全体をセンシングして最適なサービスを提供する領域にまで進むでしょう。当然、地域密着型のサービス連携が今まで以上に重要となります。リスクはサービス品質です。よりタイムリーできめ細かい対応が求められます。対応の結果までAIは把握しますから、サービス会社交代をお客様に進言する事だってあり得ます。

中小企業が「今」やっておくべきことを3つばかり提言します。

1) 想定シナリオワークの勧め

自社商品・サービスのニーズの多様化はどこまで進むのか、付加価値がどれくらい上がって、原価はどうなるのか。あるいは関連業界やお客様で著しく多様化してゆく領域はあるか。そこに対して自社の機会の有無はどうか。若手中心タスクでのシナリオ創りや、大学生インターンシップ課題でもいいでしょう。自分事になります。

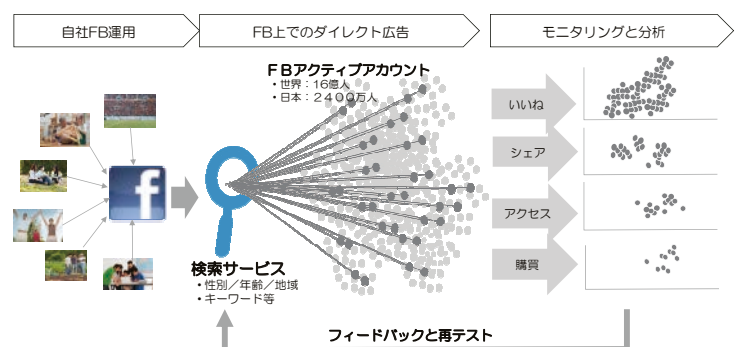
2) 異業種とのコミュニケーション拡大

第四次では、これまで関係性の薄かった業界や機能同士の価値との連携連鎖が起こります。まずは、異業種コミュニケーションを意図的に進め、外と繋がるマインドを醸成すべきです。これは社内の中核を担うミドルマネジメント層がキーです。

3) デジタルマーケティングの実践

自社の特定の商品・サービス領域でビッグデータやAIを活用した活動を意図的に創り実践してみることです。お勧めはSNSを活用したデジタルマーケティング。(図2)たとえばフェイスブックは世界で16億人の実名中心のアクティブアカウントを持つビッグデータであり、かなりの属性検索ができます。PDCAをまわすのに3か月あれば十分ですし、社員が自ら実践しながら学んでゆけます。

図2. FBを活用したデジタルマーケティング実践



おわりに

「虎穴に入らずんば虎児を得ず」「百聞は一見にしかず」は今も昔も真理。世の中、やって見なければわからないことばかりです。ATM（明るく楽しき前向きに）の精神でいっしょに進んでゆきましょう！

(富士ゼロックス株式会社 マーケティング部 杉田 晴紀)

スタッフ趣味の 写真

～制作課 米田達生編

趣味の話ということで…私は学生時代から写真を撮っています。大学を卒業し、一度写真スタジオに勤めた経験もあり、現在は実際に業務も行っていますので、もはや趣味というか…なのですが。

私が始めた頃はまだデジタルカメラは普及しておらず、フィルムカメラで撮っていました。35mmのネガフィルムをカメラに入れて枚数が終われば、街のプリント屋さんで現像してもらいプリントしてもらう。これを懐かしいと感じるかどうかで年齢が分かります（笑）（余談ですが、近ごろはフィルムカメラのあの質感と撮った写真をすぐ見ることができないことが逆に良いと、若い方に人気でフィルムブームが巻き起こっています。デジタルカメラのデータを敢えてフィルムのような雰囲気加工して楽しんでいる方もいて、流行とは分からないものですね。）いまはデジタルカメラで、ぱちりぱちりと撮っています。

どこへ行くときもできるだけカメラを持ち歩くようにしています。もちろん会社へ行くときも。カメラを持っていると普段気付かなかった光や景色、季節の移り変わりなど様々なものへの気付きが増え、漠然と生きている（笑）私にとってそれは二度とない大切な時間を再認識するものになっています。

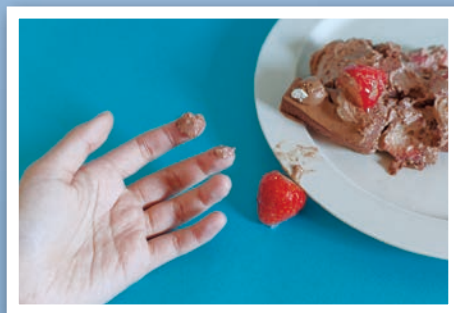
いつもテーマをもって写真を撮っています。近ごろは「写真の本質にはハッピーがあるんじゃないか」と感じ、家族写真を多く撮っています。

自分の家族や友達たちに協力してもらい撮影しています。私が撮った写真が家族の大切さ、当たり前ではない時間に気付くものになり、また時が経ち当たり前ではなくなった時には懐かしみ温かい気持ちになるものになればと、青臭いかもしれませんが、本気で思っています。

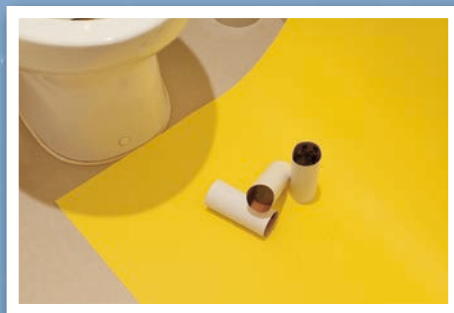
写真を通じて多くのつながりができ、貴重な体験もできました。これからもたくさん写真を撮り続け、いつか個展なんてできればいいなあと思っています。写真って楽しいですよ。



家族写真



グループ展にて



● 編集後記 ●

産業イノベーションがもたらす大きな変化（横文字で、パラダイムシフトというそうです）に関する一考察、いかがでしたか？ふと気が付けばゆでがえる、そんな状況に陥らないために今こそ変化に鋭敏なれと日々考動しないといけないのでしょうか。末尾になりましたが、貴重なレポートをご寄稿くださいました富士ゼロックス社の杉田マーケティング部長に感謝の意を表します。
(Mr. トップセールス)